

北信建設事務所 照明LED化事業による整備効果

(一) 奥志賀公園線 山ノ内町 志賀1号トンネル (防災・安全交付金 (修繕) 災害防除事業)

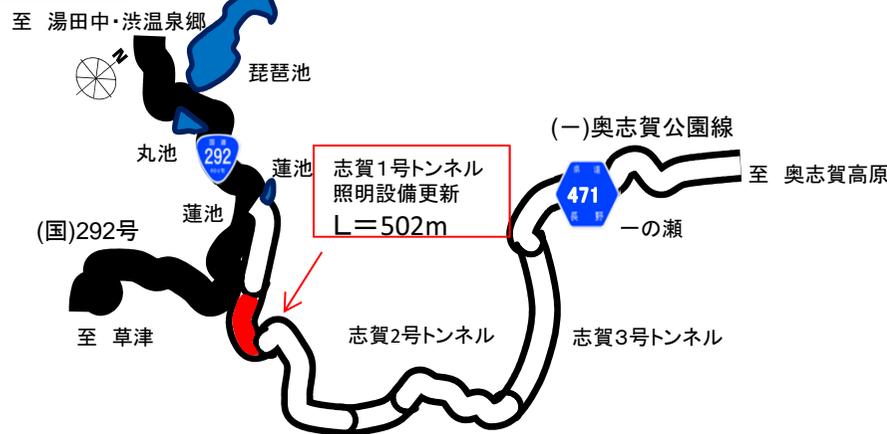
- (一) 奥志賀公園線は、志賀高原蓮池で (国) 292号と分岐し、一の瀬を経由して奥志賀高原に至る重要な観光路線である。
- その路線にある志賀1号トンネルは、照明が暗く感じられるとの道路ユーザーの声より、更新を計画。
- 更新に当たっては、LED照明を採用することにより、照明の長寿命化と電気使用量軽減等の効果を目指し、地球環境にも配慮した安全で快適な通行機能を確保した。



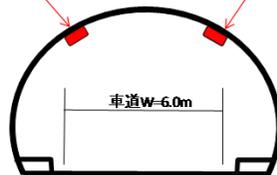
事業概要

事業延長 L=502m
 事業期間 平成24年度～平成25年度
 平成26年3月 完成供用

概要図

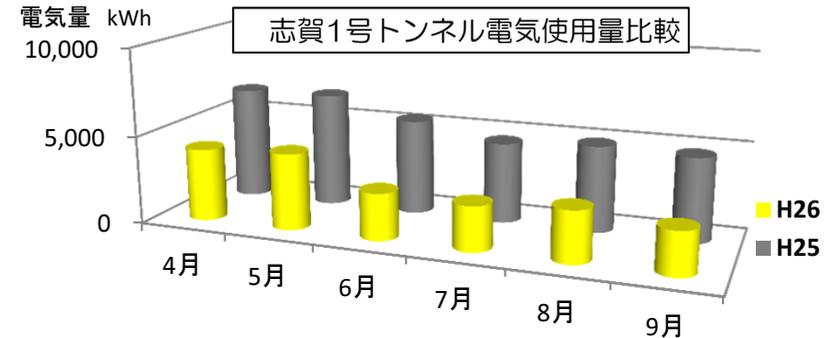


標準横断面図



整備効果

更新前(平成25年)と更新後(平成26年)の電気使用量(電気料金)を比較すると確実に減少している。



電気使用量 (kWh)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
H26	(107)	(117)	(86)	(84)	(91)	(81)	(566)
H25	4,119	4,345	2,668	2,550	2,918	2,454	19,054
	(141)	(146)	(128)	(115)	(122)	(119)	(771)
	6,457	6,513	5,407	4,569	4,898	4,759	32,603

注) 上段 () は電気料金(単位: 千円)を表す



北信建設事務所 照明LED化事業による波及効果

(一) 奥志賀公園線 山ノ内町 志賀1号トンネル (防災・安全交付金 (修繕) 災害防除事業)

【観光資源の強化と地域経済の発展】

明るくきれいなトンネル照明を提供し、志賀高原を訪れる観光客を迎えるホスピタリティ

- 志賀高原のイメージアップ
- 山岳高原観光地づくりが推進



【豊かな自然環境の保全】

- CO₂排出量の削減による自然環境の保全
[年間CO₂削減量の増⇒ 約14 t]
※排出削減量0.509kg-CO₂/kWh(H25中部電力の係数)として算出
- 紫外線、赤外線が発散が少ないため、ユネスコエコパーク志賀高原の自然環境と道路との調和・共生が促進



【その他】

- 他の照明施設等のLED化の促進
- 長寿命(従前の約10倍)で虫の飛来も抑制できるため、良好な景観を長く保持
- 節電、省エネルギーの取組の推進

